

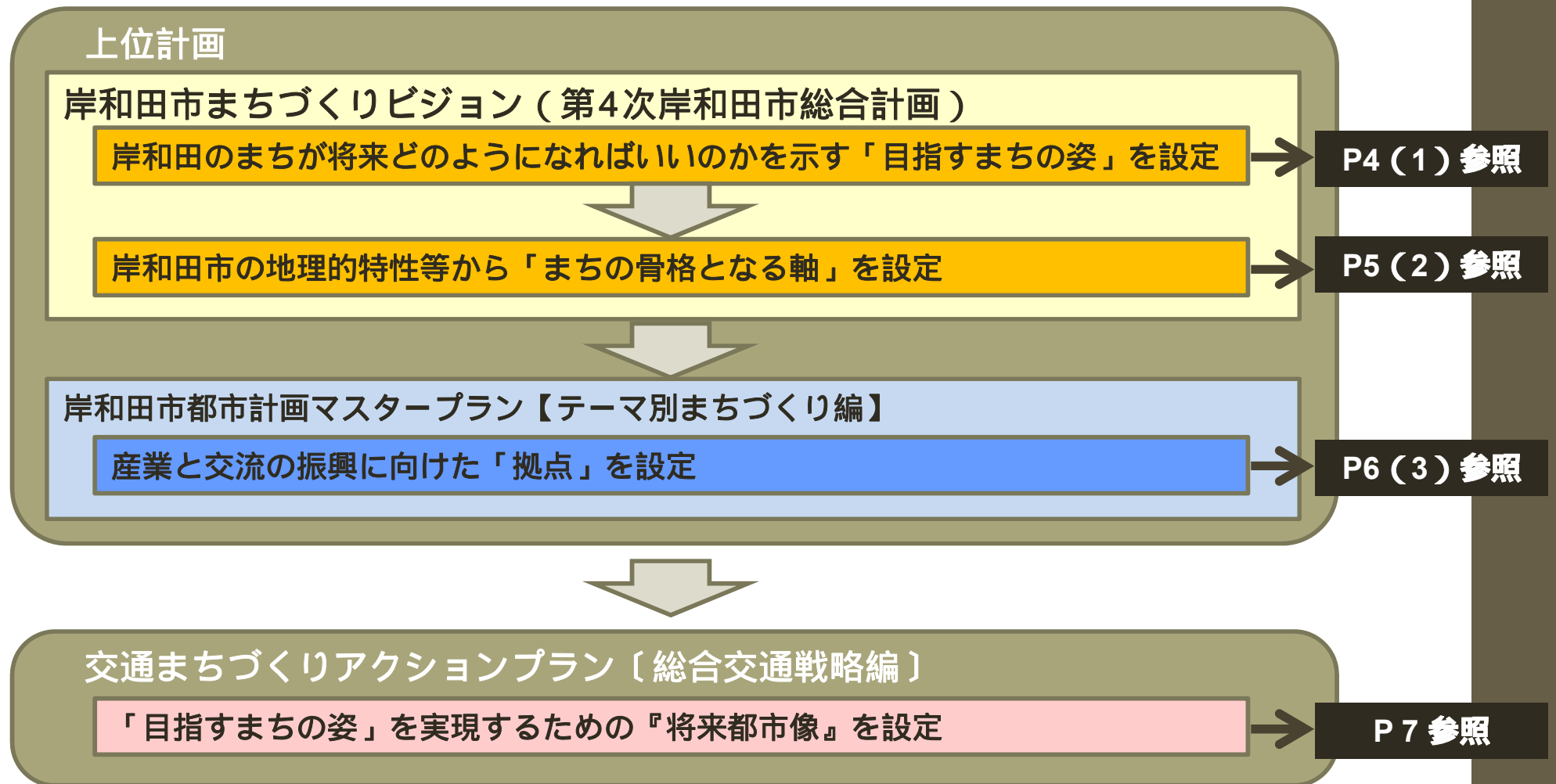
岸和田市交通まちづくりアクションプラン 〔総合交通戦略編〕について

都市将来像の設定（案）	・・・	2
戦略目標の設定（案）	・・・	8

将来都市像の設定（案）

1 . 上位計画におけるまちづくりの将来像について

上位計画である「岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）」や「岸和田市都市計画マスタープラン【テーマ別まちづくり編】」において、設定されているまちづくりの将来像について、次ページ以降に示す。



1. 上位計画におけるまちづくりの将来像について

(1) 目指すまちの姿

上位計画である「岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）」において、様々な人が出会い交流し、そこに子どもたちの笑顔、若者たちや働く人のエネルギー、高齢者や障害者の生きがいなどがあふれ、人もまちも元気で、躍動感のあるまちを目指し「元気あふれる躍動都市 岸和田」を将来像としている。

目指すまちの姿

元気あふれる躍動都市 岸和田

私たちのまち岸和田は、先人たちの英知と努力により、泉南地域の経済・文化・行政の中心的都市として着実な成長を続け、多様性をもった調和型都市へと発展してきました。

また、21世紀を迎え、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、地域経済の停滞、情報技術の急速な発達、地球環境問題の顕在化、安心・安全の確保、分権型社会の進展など、社会経済状況は大きく変化しています。

私たちは、これらの直面する課題に果敢に挑戦し、魅力ある岸和田を次の世代へ確実に引き継ぐ使命と責務があります。

今やその名を全国に馳せ、岸和田の代名詞ともなっている「だんじり祭」は、時代や社会が変化

する中にあっても約300年もの間、親から子へ、子から孫へと連綿と受け継がれ、祭には、主人公である市民はもちろんのこと、岸和田という地域社会全体が躍動感に満ちあふれます。

岸和田の多様な産業や豊かな歴史と文化を継承しながら、新たな時代を切り拓いていくためには、だんじり祭に象徴されるこの「躍動感」こそが、今、岸和田に求められているものです。

そこで、様々な人が出会い交流し、そこに子どもたちの笑顔、若者たちや働く人のエネルギー、高齢者や障害者の生きがいなどがあふれ、人もまちも元気で、躍動感のあるまちを目指し、「元気あふれる躍動都市 岸和田」を将来像とします。

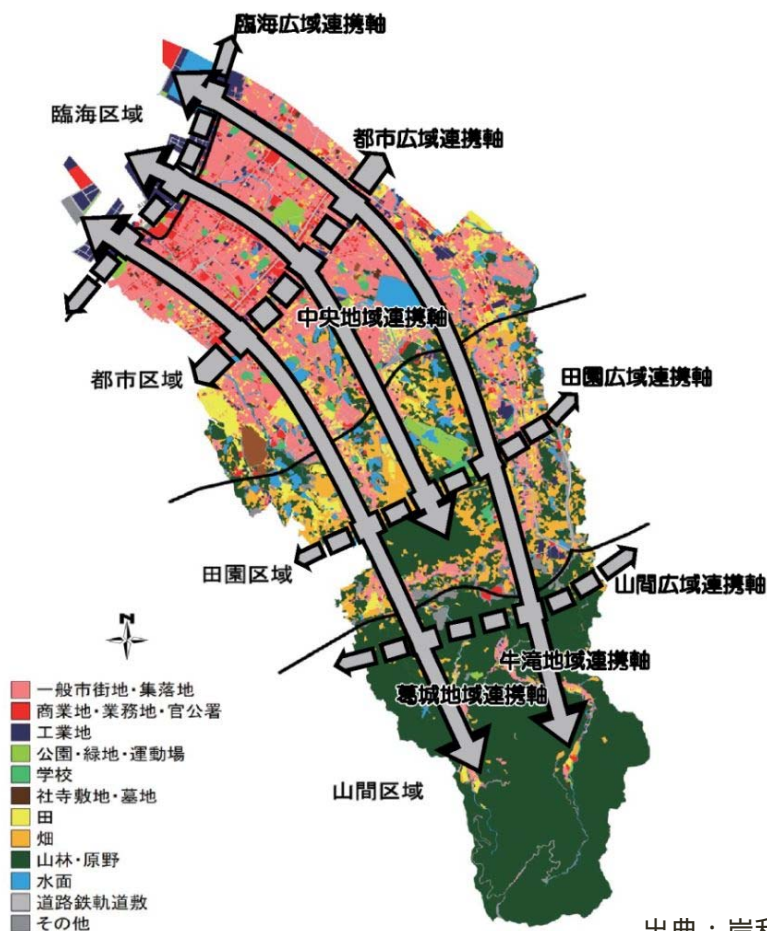


1. 上位計画におけるまちづくりの将来像について

(2) まちの骨格となる軸の設定

上位計画である「岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）」において、帯状に形成された4つの区域を結び、人、物、情報が流れ、様々な交流と活動の活性化を図るために市域内を結ぶ「地域連携軸」と、大阪都心部と関西国際空港や和歌山とを結ぶ「広域連携軸」を設定している。

まちの骨格となる軸と土地利用状況（平成22年）



広域連携軸

軸の機能		主な路線名
臨海区域と都市区域の発展に寄与する軸	[臨海広域連携軸] 臨海区域で 市内外を結ぶ	阪神高速4号湾岸線 ----- 府道大阪臨海線
	[都市広域連携軸] 都市区域で 市内外を結ぶ	府道堺阪南線 ----- 南海線（鉄道） ----- 国道26号 ----- JR阪和線（鉄道） ----- 府道大阪和泉南線 ----- 〔都〕大阪岸和田南海線 ----- 〔都〕泉州山手線
田園区域と山間区域の発展に寄与する軸	[田園広域連携軸] 田園区域で 市内外を結ぶ	〔都〕泉州山手線 ----- 国道170号
	[山間広域連携軸] 山間区域で 市内外を結ぶ	阪和自動車道

地域連携軸

軸の機能		主な路線名
海と山をつなぎ、市内の交流・活動の発展に寄与する軸	[葛城地域連携軸] 葛城の谷沿いに 市域を結ぶ	府道岸和田港塔原線 ----- 〔都〕岸和田土生郷修斉線 ----- 津田川水系
	[中央地域連携軸] 市の中央部で 市域を結ぶ	府道春木岸和田線 ----- 〔都〕岸和田中央線 ----- 春木川水系
	[牛滝地域連携軸] 牛滝の谷沿いに 市域を結ぶ	府道岸和田牛滝山貝塚線 ----- 牛滝川水系

出典：岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）（岸和田市 平成23年3月）

1. 上位計画におけるまちづくりの将来像について

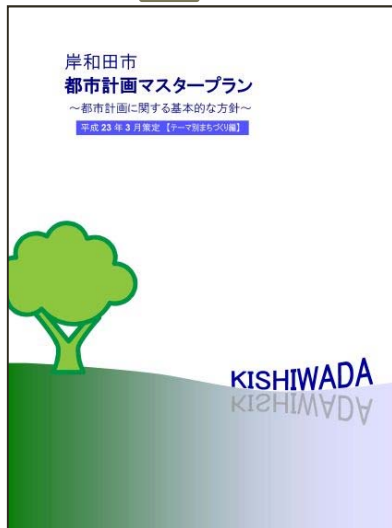
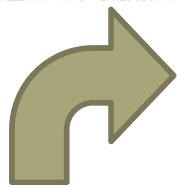
(3) 多彩な魅力と活力を備えたまちづくり

上位計画である「岸和田市都市計画マスタープラン【テーマ別まちづくり編】」において、山から海までの地形と生活文化が生んだ豊富な地域特性のもと、さまざまな産業と交流の場がある。この豊富な資源を活かし、多彩な魅力と活力を備えたまちづくりを進めていくとしている。

取り組むべき方向性

本市が、都市活力を持ち続けるためには、市内産業の活性化や就業機会の充実、また市内外の人々とのさまざまな交流の活発化が求められます。産業振興・観光振興・農業振興等の施策との一体的な施策展開のもと、多様な分野の産業と多様な交流が展開されるまちを目指します。

そのため、既存産業の振興を図りつつ、大学や企業等の交流連携を促進し、地域資源を活かした新たな取組や産業の育成を図るため、適切な土地利用の規制・誘導、市街地開発事業や地区計画等の活用を通して、拠点の形成・充実と、広域的交通網及び市域内交通網の充実を図ります。



【施策体系】

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 都市型産業の振興と交流のための拠点づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 工業拠点の形成 2) 都市拠点の形成 3) 地域拠点の形成 4) 生活拠点の形成 | <p>(3) 地域資源を活かした観光と交流の環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歴史・伝統資源の保全と活用 2) 自然・スポーツ・文化資源の活用 |
| <p>(2) 農林漁業の振興とふれあい環境づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 優良農地の保全と活用 2) 樹林地の保全と活用 3) 漁業資源の保全と活用 | <p>(4) 交流と連携を高める交通網づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 広域的交通網づくり 2) 交流と回遊性を促進する交通網づくり |



2. 『将来都市像』の設定について

都市軸の交流拠点を都市核とし、階層的につなぐ
多極集約・ネットワーク型のまちづくり



戦略目標の設定（案）

1. 将来都市像を実現するための戦略目標

公共交通を基軸として徒歩や自転車、自家用車等の各モードが連携し、適切な役割分担のもと、各拠点の特性に応じた集約型まちづくりを実現する交通施策を推進する。また、その他の周辺地域においても、各拠点との連携を図り、地域特性に応じた効率的な生活交通を確保する。

基本計画編

基本理念（目指す交通インフラの姿）

元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

基本方針

基本方針
子どもから高齢者までいきいきと健康に暮らせるまちを支える交通

基本方針
環境にやさしく、にぎわいと活力を支える交通

基本方針
定住化や来訪機会を促す魅力あるまちを支える交通

基本方針
みんなで作る、みんなが支える持続可能な交通

総合交通戦略編

戦略目標
誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築

戦略目標
拠点の活力促進に向けた交通環境の充実

戦略目標
人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成

戦略目標
地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保

戦略目標

誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築

活動と移動の
階層構造

近隣圏

都市部・山間部・近隣市町を結ぶ
交流ネットワーク

生活圏

地域内で回遊性を高める交通ネットワーク

戦略目標を
達成するための
主な課題

- ・ 徒歩を中心とした多様な移動手段の選択可能なモビリティの確保。
- ・ 多様な移動目的に対応した安心・安全に移動できる自転車・歩行者空間の確保やバリアフリー化された移動空間・環境の整備。
- ・ 運転免許証を持たない方や自動車を利用できない方も活動的で健康的な生活を促進するために、自動車がなくても生活できる公共交通体系の構築。

施策
イメージ

- ・ 幅広い世代の方が外出しやすくするために、各交通モード間の役割分担や連携を強化する。
- ・ 歩行者・自転車・自動車等の通行空間の分離やバリアフリー化を推進する。
- ・ 交通事故予防のため交通安全教室の実施やバリアフリーに係る啓発教育を推進する。

戦略目標

拠点の活力促進に向けた交通環境の充実

活動と移動の
階層構造

近隣圏

都市部・山間部・近隣市町を結ぶ
交流ネットワーク

生活圏

地域内で回遊性を高める交通ネットワーク

戦略目標を
達成するための
主な課題

- ・ 拠点へのアクセス改善による自動車交通の円滑化など交通基盤の整備。
- ・ 駅周辺の拠点施設等への公共交通によるアクセス性の向上や乗り継ぎ利便性の向上。
- ・ 回遊性を高める歩行者優先の交通環境の充実

施策
イメージ

- ・ 拠点となる鉄道駅周辺における高質な公共空間の形成を図る。
- ・ 交通結節点での各交通手段間の乗り継ぎのための公共交通情報の提供を行なう。
- ・ 公共交通の利用のしやすさ向上や公共交通相互及び公共交通と他の交通手段との連携強化を図る。

戦略目標

人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成

活動と移動の 階層構造

広域圏

南北大阪を繋ぐ 広域連携軸

近隣圏

都市部・山間部・近隣市町を結ぶ
交流ネットワーク

戦略目標を 達成するための 主な課題

- ・ 広域アクセス機能を持つ都市計画道路泉州山手線やそのアクセス道路である市内幹線道路の整備による交通ネットワークの形成。
- ・ 若い世代をはじめ、みんなが将来にわたり定住したいと思える公共交通体系の形成。
- ・ 観光客などの来訪者が市内の観光施設等どこにでも移動しやすく分かりやすい公共交通の整備。
- ・ 災害時における緊急輸送や避難でのリダンダンシー（多重性）の確保。

施策 イメージ

- ・ 広域圏や近隣圏の交通ネットワークの機能強化を図り、都市間の連携強化、各拠点へのアクセス性の向上、災害時における緊急輸送や救助活動などの応急対策活動の確保を図る。
- ・ 交通渋滞の緩和、円滑な自動車移動を図るため、道路網の効率的な整備や交差点改良等を推進する。

戦略目標

地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保

活動と移動の 階層構造

生活圏

地域内で回遊性を高める 交通ネットワーク

戦略目標を 達成するための 主な課題

- ・ 地域住民、交通事業者、行政等が協働で、地域の交通に関する課題に取り組み、社会全体で支え・見守るという共通認識の確立。
- ・ 公共交通の利用意識向上や地域にふさわしい公共交通体系の検討。

施策 イメージ

- ・ 自動車から公共交通への転換をはじめ、ハード・ソフト面からもまちづくりや交通について考え、協働で取組を進めるしくみづくりや取組を推進し、市民の健康増進や交流促進につなげる。
- ・ 既存の公共交通サービスが十分でない地域では、行政・地域・関係事業者が連携して、地域主導による地域公共交通の導入に向けた検討を進める。
- ・ 地域の安全・安心のため通学路の合同点検や見守り活動により施策を推進する。